

国際医療リスクマネジメント学会
医療安全推進機構、日本医療安全学会、
医療安全心理・行動学会

医療安全国内講習会 主催者の挨拶

感染症の危機管理教育セミナー2022

(日本語社会人教育プログラム)

大規模感染症における危機管理の基本

21世紀は社会の各方面で危機管理の時代です。
感染症ではSARS、新型肺炎そして新型コロナウイルスという感染症が世界規模での大流行に至りました。

日本ではもともと危機管理の意識は気弱です。感染症による国家的危機は奈良時代から平安時代にかけて
外来文化の流入に伴って発生しました。全国一帯に鎮護の寺院が建立しました、

21世紀はウイルス感染症の時代ともいわれています。
日本も含めて世界では、今後も新たなウイルス感染症が10年に1度、世界的危機を発生することは確実で
しょう。しかし、日本医療における感染症の危機対応は未発達です。

以上から、本教育プログラムは、大規模感染症に対する医療安全のあり方を危機管理の観点から検討する
ことにしました。医療という特殊な現場で必要となる危機管理向上のための基本知識を様々な観点からお届
けします。

2022年8月

酒井 亮二
国際医療リスクマネジメント学会 国際理事長
医療安全推進機構 国際理事長
医療安全心理・行動学会理事長

主催者一同